

総合型クラブ新聞

平成17年度

総合型地域スポーツクラブマネージャー研修会

平成17年度に開催されたクラブマネージャー研修会の講義内容をご紹介します。

クラブマネジメントにおける基礎知識とスキル

なぜ総合型地域スポーツクラブなのか？

- 1. 財政難
- 2. 少子化

↓ これまでのやり方が苦しくなった。子どもが少なく狭い地域では競技自体が成り立たないし、財政が厳しくなった行政では、これまでの体育振興の規模をまかないきれなくなりました。

苦しくなって

- ↓ ボランティアへの負担増、寄付金集め。
- ↓ 各種団体、関係団体の自立を求めるようになるにきました。

立ちゆかない現状に対して、スポーツクラブ、NPOによる現状の打開が求められるようになりました。総合型は一つの施策としてスタートしました。ただし、行政任せのスポーツクラブはこれまでと何ら変わらないし、ゲリラ的活動は行政とうまく協働できないことが問題になっていきます。これからは、どのように行政とスポーツクラブが連携協働していけるかが課題だと思います。

スポーツクラブ立ち上げの順序

1. 目的・ねらい(自己実現) 思いや願い 思いを周囲と共有し、シンブルにかつわりやすくブレゼンしていくことが大事です。
2. 具体的な事業化(事業内容) 主催、共催、受託、アウトリーチ。どのような種目をするか、対象をどこにおくか。
3. 運営資源 ひと・もの・金・情報・時

クラブの経営資源で大切なもの



〒920-0937
金沢市丸の内3番3号
Tel.261-8128 Fax.261-8893

自分たちがやりたいことがなんなのかはつきりしない金太郎飴状態の類似事業が各地で展開されてしまっています。地域の特性を生かした、クラブづくりが求められています。大切なことはみんなで考えること、いろんなアイデアを得るとともに、その人たちの参加を促し、協力し合うことがクラブを左右します。

経営資源I

【組織マネジメントとボランティアの育成と活用について】
スポーツクラブの種類

- ・ 任意団体 (個人事業ベース)
- ・ 任意団体 (個人事業ベース)
 - いい加減スピードがある、カリスマ性で成り立つ
 - いい加減すぎる、カリスマ性に頼りすぎる (影響力が大きすぎて永続性が危惧)
- ・ NPO法人各団体のよい点をミックスしたような形態
- ・ 寄付金、マンパワー (ボランティア) を得ることができる、情報公開による公正性
- ・ 公的法人
- ・ 信用がある、行政とのパイプがしっかりしている
- 行政の関与が強く主体性が発揮できないことがある
- ・ 企業体
- 投資、資金調達などのビジネススキルを導入できる
- 寄付なし、全て自己責任、常にお金が必要

設立間もなく、任意団体がよいと思います。融通がききます。海外のNPOでは組織内部に企業体を作っており、米国NPO団体では、証券会社と連携して資産を運用して財源確保につとめている団体もあります。

- ・ 代表・理事(役員)
- ・ 外部取締役、ビジネスマン、リスクマネジメント、会計士、医師(無償)
- ・ 事務局長(プロデューサー)
- ・ 課長(コーディネーター)
- ・ 係長(アシスタントコーディネーター)
- ・ 職員(スタッフ/常勤、非常勤派遣、臨時、アルバイト理事は、アドバイザーであり評価を担当し、理事会での決定ばかりを待つような組織は駄目で、現場での迅速な意志決定が必要です。



組織は生き物である。必要に応じて大きくなったり小さくなったりすることが大切です。常に向えを指せるような仕組みであること。必要な知識と経験とスキルを持ってもらわなければいけないと思います。日本古来の平等性を捨て、適材適所でドーナツ型の人員配置がこれからの組織です。

経営資源II(モノ・クラブハウス)

指定管理者制度におけるNPOマネジメント
スポーツクラブが指定管理者になることのメリット

- ① 拠点ができる(事務所がただ) ↓ クラブの顔
 - ② 基本的財源の一部確保(管理人員費) ↓ 資金
 - ③ 参加/協働 ↓ 事業と予算の適正化(自分たちで考えるから)
- 体育館の運用を考えると、
企業・メンテナン、整備

行政・事業の受託
専門家・アドバイザー
住民・参画

といった様々な協力を得て地域オリジナルのチームを作っていくことが必要。



経営資源III(カネ)

NPOにおける財源確保と経営戦略

1. 収入の種類：会費、寄付金、助成金、補助金、委託金
事業収益 参加・利用費/物販
 2. 収入の対象：住民参加費、物販、寄付、会費、行政(会費、助成金、委託金)、企業(会費、寄付金、助成金、参加費、物販)
- ↓ それぞれのターゲットに対してどのようにアプローチしていくか。

3. 資金調達に必要なもの

- 実績 ↓ 行政、企業
- 信頼 ↓ 行政、企業
- ステータス ↓ 行政、企業
- 組織、事業内容、マネジメントグラフ
- 助成金はNPOへの投資金
- 企業とNPOの協働
- 企業に寄付をねだるのではなく、企業にとつてのメリットとしての寄付。形として見えるような基準をつくらせて企業に提案していく。

クラブマネージャー研修会での名言

既存団体を避けて通ることは、問題を先送りすることになる。

できない言い訳を探すのではなく、できることを探すエネルギーを！

それぞれの得意分野を地域のために提供しよう。

非営利組織の特徴。

収益が上がっても報酬として還元されることはない。どのようにモチベーションを高めていくべきなのか？

チームチエアスカラーになるな！

社会学者として座って本を読んで理論を勉強して全てが解決できるのではない、現場に出て学ぶことが大切。

まかせの工夫を。お願い ↓ お礼 ↓ 報告(成果の共有) ↓ 主体的協力。

頭でっかちにならず、いろんなことをしてみる。経験、体験をしてはじめて自分の行動を分析できる。

リーダーシップ「目標達成に向けて人々に影響をおよぼすプロセス」

組織が未熟な時は管理が必要(トルシエ)

組織が完成してくると任せることが必要(ジーコ)

リーダーシップとマネジメントのバランス。クラブが設立し間もない ↓ リーダーシップが重要。クラブが設立して時期を経てくる ↓ マネジメント(リーダーシップ)も重要。

マネジメント、リーダーシップ、どちらも十分持っているというところは稀。足りないところを、スタッフ(事務局、ボランティア)に補ってもらう。

大きな大会などは「見る」支えるがなければ出来ない。

これまでは、「する」が主体のクラブライフ、これからは「見る」「支える」が「する」を生み出す。

「見る」「見る」「支える」人々が、立場を変えてみる。

「する」人が「支える」人になったり、「見る」人が「する」人になったり...



編集後記

最近「総合型地域スポーツクラブ」という活字が新聞に掲載され始めました。少しづつその認知度が上がってきているような感じがします。けれど、総合型って何？という方がほとんどだと思います。総合型を言葉で理解しようとするより、経営やイベントに参加したり、スポーツに汗を流したり、地域のいろんな人と触れ合う中で感じていくものだと思います。頭で考えるより体で感じていく方が早いのではないのでしょうか。そして、クラブづくりを楽しむことが大切だと思います。